

誰でもどこでも 使いやすいイヤホン

不満 不満



調査



調査方法

- ・BRAIN BANK
- ・家電量販店訪問
- ・街頭アンケート

改善内容

- ・脱落
- ・音漏れ
- ・コードノイズ
- ・違和感
- ・聞きやすさ



！不満点を改善し、完成！

コンセプト

- ・使用者だけでなく周囲への影響を配慮した設計
- ・顧客の要望を全て解決 **イヤホン** 選びに迷わない！

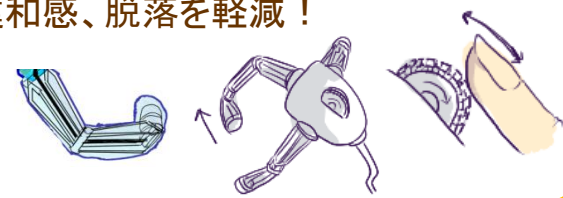


Point.1 可動式フック

背面に付いたダイヤルを操作



自分の耳にあったサイズに調節可能！
違和感、脱落を軽減！



Point.3 ネックレス型

コードをネックレス型にする



服とコードが擦れる回数が減り、イヤホンの脱落とタッチノイズを軽減！

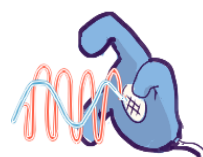


Point.2 超音波スピーカー

超音波のうなりを利用



- ・音の指向性アップで音漏れ軽減
- ・外部の雑音に影響されにくく、小音量でも聞き取りやすくなる



まとめ

既存製品の仕様と顧客の要望を比較しながら設計仕様を決定することで、重要度の高い複数の要望を同時に解決することができた。
可動フックの採用および音漏れ・聞き取りやすさの改善により、使用者・使用場所を問わず使いやすくなった。

金沢工業大学
2012年度 プロジェクトデザインⅡ
プロジェクトテーマ : 誰でもどこでも使いやすいイヤホン
クラス番号 : EM301
チーム番号 : 3
チーム名 : 3班(仮)
チームメンバー : 鈴木直宏 川村茜 川合将之 詠祐貴 玉村耕平
担当教員 : 新井山一樹